

佐伯市林業振興協議会による八女市及びおおいた材PR拠点訪問

～ 森林環境譲与税に係る取組状況(八女市) および 大分県産材PR拠点を訪問 ～

2月12日から13日の2日間、佐伯市林業振興協議会(会長:宮脇 佐伯市椎茸生産組合連絡協議会会長)の委員により、福岡県八女市及びおおいた材PR拠点を訪問(大分森林管理署から植薄 森林技術指導官(同協議会委員)が出席)しました。

1日目は、福岡県八女市林業振興課と森林経営管理制度の取り組み状況について意見交換を行いました。

八女市から、若杉 林業振興課長、堀下林政係長、山口林政係の3名出席いただき、若杉課長から八女市における森林の現況や本年度の森林環境譲与税に係る事業内容、取組状況など説明をいただきました。

その後、佐伯市農林課の染矢主任から、佐伯市林業振興協議会の中で議論・答申した、未整備森林調査(業務委託)事業、再造林担い手確保支援事業、林業就業環境改善事業などの森林環境譲与税を活用した取り組みについて説明を行い意見交換を行いました。

2日目は、福岡市にある「おおいた材PR拠点」を訪問しました。

はじめに、専務取締役からプレカット工場で取り組んでいる現状・課題などの説明を受け、その中の一つ、プレカットについて説明があり、従来からすると高精度、高強度、工期の短縮が可能、品質の安定など技術も進化している現状の説明を受けました。

その後、担当課長兼市場長からプレカット工場内の加工・品質管理の状況を案内していただきました。

今回、八女市林業振興課の方には業務ご多用中にも関わらず意見交換の場をいただいたことに対しまして感謝申し上げるとともに、今後、佐伯市における林業振興につなげるよう取り組んで行くこととしました。

また、プレカット工場では、木材の需要動向の分析や労働力不足が課題となる中で、先進技術によってカバーする取り組みなど、日頃から社会情勢の変化に対応できるようにすることの重要性を感じました。



八女市と意見交換 協議会委員:正面及び左側



八女市と意見交換 正面右側八女市



おおいた材PR拠点